

# 交流センターアラカルト & インフォメーション

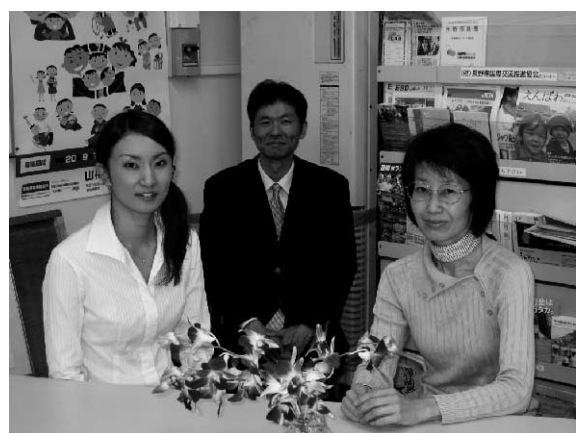


交流センターとは、「ボランティア交流センターながの」のことです。  
長野県庁東庁舎の1階にあります。資料コーナー、作業コーナー、会議室等があります。どなたでもお気軽にご利用ください。

〒380-8570(住所不要) 電話 026-232-2221 FAX 026-233-3560 URL <http://www.15.ocn.ne.jp/~pref-npo>  
【利用時間】火～木/9時から21時 金～月/9時から17時(祝日・年末年始はお休み)

## ボラセンのスタッフ～↑が 変わりました

平成20年4月から「ボランティア交流センターながの」のスタッフが変わりました。  
よろしくお願いします。



## ボラセンブログを ご利用ください



ボランティア交流センターながのでは、NPOやボランティア団体、地域の方々にお役に立つ情報をブログで配信しています。

特に、助成金情報は、最新の情報を掲載していますので、参考にしてください。

また、イベント情報なども随時配信しています。  
(リンク先は、<http://blog.goo.ne.jp/prefnpo>)  
発信してほしい情報がありましたら、チラシをお送りいただくか、メール等でご連絡ください。  
(チラシは情報コーナーに置くこともできます)

毎週末にはメールマガジンも配信していますので、購読ご希望の方は、当センターのホームページへアクセスして、ご連絡ください。

## 発行

長野県企画部生活文化課  
NPO活動推進室

〒380-8570  
長野市大字南長野字幅下692-2  
TEL 026-235-7189  
FAX 026-232-2234  
URL <http://www.pref.nagano.jp/kikaku/npo/menu.htm>  
Eメール [npo@pref.nagano.jp](mailto:npo@pref.nagano.jp)

## お知らせ

県では11月に「NPOの集い～会計セミナー～」を開催します。既にご案内をお送りしていますが、公認会計士との個別相談(要予約)も予定していますので、普段から疑問に思っていること等お気軽に相談してください。

## 編集後記

県内のNPO法人の皆様におかれましては、活動紹介の原稿依頼や、取材等での訪問等があるかと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

# ボランティア・NPO 情報ながの

平成20年10月 Vol.26

ボランティアとNPOを応援する情報誌



こども記者体験(諏訪市豊田小学校4年生)



信州ミーティング事例発表  
(特南信州おひさま進歩 原事務局長)

## NPO活動推進室とボランティア交流センターながのの活動から



NPOの広場(11/5いいやまNPOフェス2008)



日本に1頭しかいないペアドッグ  
(特定非営利活動法人ピッキオを訪問)

- トピックス…………… 2、3P
- めざそう!  
ボランティア・NPOのネットワーク…………… 4、5P
- 県NPO活動助成事業の  
助成団体が決まりました…………… 6P
- NPO法施行から10年…………… 7P
- 交流センター  
アラカルト&インフォメーション…………… 8P



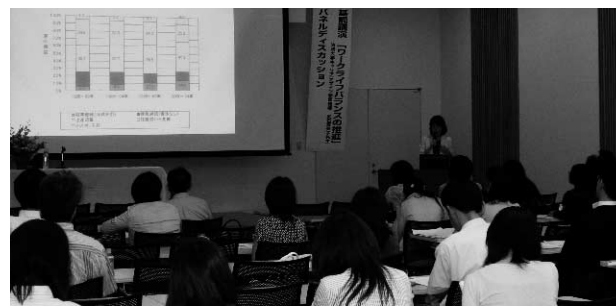
### 「働く女性・応援シンポジウム」

～女性活用でパワーアップしたい企業と  
仕事とプライベートの両立を願う女性のために～

去る9月4日長野市生涯学習センターにおいて、シンポジウムが開催されました。主催は長野市にあります特定非営利活動法人夢のデザイン塾です。

この法人は若年者、女性、中小企業の経営者と従業員等に対しての職業能力開発、キャリアカウンセリング、メンタルヘルス等支援を行い、環境変化に対応した職業選択と適応の実現を図る活動を行っています。

第1部は法政大学キャリアデザイン学部の武石教授から「ワークライフバランスの推進」と題した基調講演をいただき、男女雇用機会均等法の法整備が整っても、日本の女性の働き方はあまり変化しなかった実態や、男性の長時間労働を変えることが女性も男性もより良いバランスが作られ、効果的な能力発揮が実現できることをご教示いただきました。



第2部は財21世紀職業財団長野事務所の長坂所長、シナノケンシ株式会社の堤グループマネージャー、株式会社八十二銀行総合職の伊東さんを加え、パネルディスカッションが行なわれました。

特定非営利活動法人夢のデザイン塾の田中理事長のユーモアのある進行にすっかり夢中となり、突然の「お題発表」にはサプライズ。

パネラーの皆様は、ご自身のワークライフバランス満足度や体験等を交えながら、働き型の理想を語られました。

田中理事長は、「長野県に嫁いで以来、女性に対する目がとても保守的と感じていた。働く女性、働くお母さんやこれからの若い女性たちが、いきいきと働き続けられることに一層支援していきたい。」とシンポジウムの成功を喜んでいました。

\*ワーク・ライフ・バランス：「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。国では、平成19年末、「ワーク・ライフ・バランス憲章」を策定し、官民を挙げて様々な取組が進められている。国民運動「カエル！ ジャパンキャンペーン」もそのひとつ。

特定非営利活動法人 夢のデザイン塾  
〒380-0871 長野市大字西長野字袖長野2番地4  
カシヨ情報ビル  
☎026-231-5440 FAX026-237-0131  
E-mail info@yume-design.or.jp  
U R L http://www.yume-design.or.jp/about us.html

特定非営利活動促進法ができて、10年を迎えます。NPO法人も社会的責任とその真価が問われる時期にきています。信頼性向上・醸成に向けた取組みが今こそ求められているのです。

### 誠実にまじめに事業を行っていただければわがってもらえる！？

素晴らしい活動をしていても、地域に知ってもらえず損をしていませんか？  
抽象的なスローガンを掲げても地域の人がわかりづらいし、信頼も得にくいものです。  
活動の結果を会員ばかりでなく、地域に対して説明し、情報公開していくことが大事なのです。  
それには・・・

### 事業報告書は大事な活動アピール！！

毎年決算終了後3か月以内に提出いただいている事業報告書ですが、「面倒だ」とか「負担だ」とか思っていないですか？  
確かに、法令で定められていて出さなければいけないし、決算締め～総会開催と忙しいのですが、皆さんの素晴らしい活動を県民にお知らせして、NPO活動の理解を得る格好のチャンスなんです。（提出された事業報告書類は管内地方事務所とボランティア交流センターながので閲覧可。法人事務所にも備付け必須！）



ちょっと発想を転換したら、ただでPRにもなり、活動が理解され信頼を高めることができます。大いにアピールしてください。

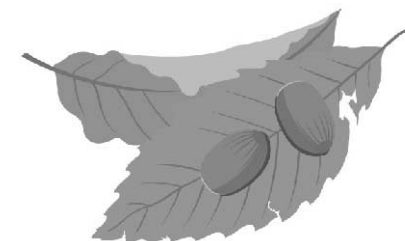
### 市民による評価こそが発展の基盤！！

NPO活動は、市民の自由な社会貢献活動に果たす役割の大きさと社会の期待を表すものと言える反面、市民活動を促進する理念から行政庁の許可ではなく、認証という手続きで設立されていることから、情報公開を徹底することが大事です。

NPO法の理念を損なうような活動が報道されると、市民の間に定着しつつある信頼が、NPO全体として壊されてしまうことにもなりかねません。

「市民による評価」こそがNPOの発展の基盤です。

自らの活動を積極的に市民等に明らかにし、幅広い信用に基づき物心両面での支援を受けて、いきいきと活動していただくことを期待します。





# 平成20年度長野県NPO活動助成事業の 助成対象団体が決まりました。

# トピックス

県では、県内のNPOの活動を支援するため、公益の増進に寄与する先駆的・独創的な事業、NPOと県との協働を推進する事業に対して助成をしています。14団体からの応募があり、書類審査による選考（第一次審査）とプレゼンテーションによる選考（第二次審査）を経て、5団体が助成対象として決定しました。

※(特)は特定非営利活動法人の略です。

## 「こもろ・旅カフェ」オープンから1年

小諸市で活躍している特定非営利活動法人「こもろ情報ひろば」と「小諸町並み研究会」が共同で運営し、まちづくりに取り組むNPOや市民の活動拠点となる『こもろ・旅カフェ』が昨年4月にオープンしてから、1年がたちました。更に今年8月に設立した特定非営利活動法人「こもろの杜」も加わって、活動は益々パワーアップ！

カフェと言っても喫茶店ではありません。小諸駅から相生町商店街を少し昇った交差点の角にあり、ガラス張り内側のペレットストーブが目を引きます。

中には、小諸市の歴史や自然環境についての資料コーナーや情報検索用のパソコン、打ち合わせ用の大きな机を配し、市民の参加による月1回の企画会や学習会、交流会を行っています。

また、「歴史と文学のめぐり道」と題した大人の遠足を企画・コーディネートしたり、小諸の特産品、郷土食を発掘、開発する「食のたんけん隊」や絵になる風景やお勧めの散策路の写真・情報を収集、発信するたんけん隊などのプログラムが用意されていますので、参加してみたいですか。



「小諸町並み研究会」では活動10年間の成果として【信州小諸・町並みデザインブック】を発行しました。小諸の一番の宝物である景観、伝統的建物、まちの歴史、城下町の美しい町並みを受け継ぎ、今後のまちづくりのお手本帳として活用するものです。カラー写真が多く目でも楽しめます。

また、子供達が楽しみながら、まちなかを散策して郷土を学習できる【城下町たんけん・子ども忍者ラリー】を毎年11月3日に行っており、10年間の成果をまとめた【城下町たんけんブック】が発行されました。故郷を知り、誇りに感じてもらうとともに、歴史と伝統を守っていく子供達が育ってほしいという思いがあふれています。

いずれも『こもろ・旅カフェ』で有料頒布しているので、ご利用ください。



小諸市には、もともと市民公益活動センターがないのですが、市民自らの手による設立、運営の市民活動の拠点としての『こもろ・旅カフェ』が、それに代わって機能していくことは、大変素晴らしいことだと思います。多くの市民が集い、小諸のいいところ、いいものを楽しみながら掘り出して、地域とそこに住む人々が元気になって、よそから来る方々におもてなしができるそんな拠点になることを期待します。

『こもろ・旅カフェ』  
〒384-0025 小諸市相生町2-2-1  
☎0267-22-2227 FAX 0267-26-2078  
E-mail info@tabi-cafe.jp  
U R L http://tabi-cafe.jp

**(特)キッズウィル(大田市)**  
**「キッズウィル療育講座2008」**

一般県民を対象とした軽度発達障害の理解促進のための講演会及び軽度発達障害児と保護者を対象とした社会生活スキルを楽しく学ぶための療育講座を開催。

成果を実践報告例としてまとめ、教育関係者等に配布することで、軽度発達障害への理解促進を図る。

ソーシャルスキルトレーニングのーコマ(調理作業)

**(特)ワークス&コミュニケーションズ(松本市)**  
**「障がい者アートバンク事業」**

障がいのある創作者の作品を集めて展示し、障がい者アートを芸術として普及啓発し、障がい者アートの振興と発展に取り組む。

また、ポジフィルムに保存した作品の有料貸出を行い、障がい者の収入支援を行う。

四賀アイ・アイ 熊井宏武 作

**食のまちづくりを進める会(上田市)**  
**「食のまちづくりたちあげ事業」**

総合的な地産地消を市民自らの力で推進できるよう、たちあげ事業として講演会や「食農育」講座、異業種交流会等を開催する。

産地と都市部の顔が見える関係を構築し、地域で農業を支え、共生、発展を目指す。

**(特)軽井沢・森の街づくり隊(軽井沢町)**  
**「信州の野鳥をデザインした切手シートによる環境保全活動」**

県内に生息する野鳥を配したオリジナル切手シートを作成するとともに、植樹、愛鳥イベントを行うことで、野鳥がすみやすい環境を保つための環境保全啓発に努める。

市民の寄付により、環境保全、まちづくりができるしくみの構築を目指す。

**(特)上田図書館倶楽部(上田市)**  
**「～仕事や研究の記録を図書館に残し地域に伝える～執筆編修講座」**

団塊世代や高齢世代を対象として仕事をテーマとした自分史を執筆するための講座を開催。出来上がった本は地域の図書館に寄贈し、ビジネス支援等の資料として活用する。先駆的な図書館活動のあり方の一つのモデルとして提示し、他地域の図書館にも波及することを目的とする。



**\*地球温暖化防止を推進しよう\***  
**特定非営利活動法人CO2バンク推進機構**

循環型社会、持続可能な社会と謳われてから、長い期間がすぎようとしています。

その理念をかたちにすべく、NPO法人を設立し、CO<sub>2</sub>の削減、地球温暖化防止の研究・啓発や子供達に対する自然体験教室などに取り組んでいます。

去る8月23日・24日には、長野市ビッグハットで開催された「信州環境フェア」に出展し、県産材利用促進のPRや新エネルギーの解説展示を行いました。特に子供達を対象とした間伐材や剪定枝等の工作教室は大盛況でした。

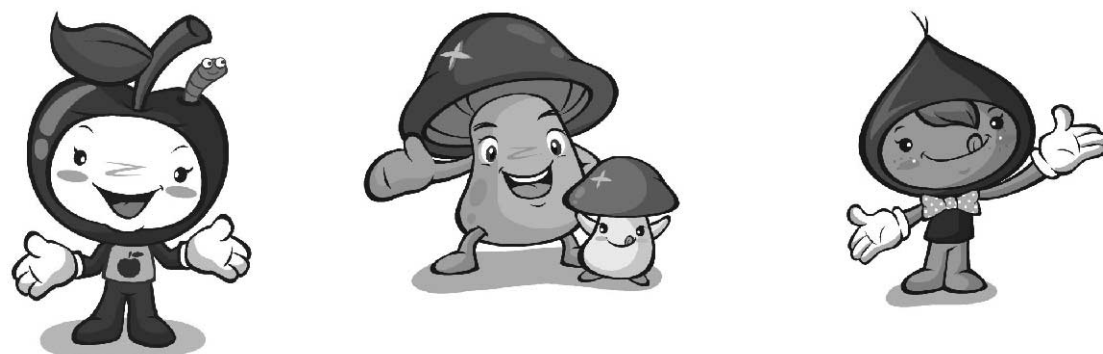
自然豊かな信州の地で暮らす私たちが、手を取り合っていることを今すぐはじめましょう！



【連絡先】  
 〒380-2217 長野市稲里町中央三丁目33番23号  
 TEL 026-285-7670 FAX 026-254-7301  
 URL <http://www.co2bank.org/>

**めざそう！**  
**ボランティア・NPOのネットワーク**

NPO活動推進室とボランティア交流センターながのでは、NPO・ボランティア、支援センターの活動紹介をおし、活動分野を超えたネットワークづくりのお手伝いをめざしています。



**\*スポーツで健やかな毎日と地域社会づくり\***  
**特定非営利活動法人NPO総合体操クラブ Wing**

今年はオリンピックイヤーで、日本の選手たちの活躍に感動し熱くなりました。

私達は昭和55年に松本体操協会の社会体育事業の一環としてスタートし、地域の小中学生の新体操競技指導を中心に活動を行っています。

今年3月に、選手のレベル向上に伴い、質・量ともこれまで以上に充実した活動を展開するために法人格を取得しました。

この地域からも、トップアスリートが生まれてくるような競技スポーツ選手の育成、生涯スポーツの振興を通して、明るく活気のある地域づくり、全ての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。



【連絡先】  
 〒390-0861 松本市蟻ヶ崎4丁目3番49号  
 TEL/FAX 0263-36-7180

**\*がん患者やその家族の心に癒しを\***  
**特定非営利活動法人Heal（ヒール）花しずく**

高齢化が進んだ今、病院では高齢者看護に多くの時間が占められ、がん患者の精神的ケアはおろか家族ケアに十分な時間がとれないのが現状です。

そこで、悪性疾患及び慢性疾患に罹患した患者、家族及び遺族の方を中心に、癒しの提供、語りの場の提供、個人面談に関する事業を行い、不安のない生活が送れるよう、活動しています。

特に、ボディケアやアロマセラピーによる癒しを特徴としており、利用された方々には、「座っているのが辛かったのに楽になった」「手足がぼかぼかして気持ちがいい」と大変喜ばれています。

患者さんや家族の方に限らず、地域の方々にも、たくさん来ていただき、話をし癒されて帰っていただけるよう頑張っていきます。



【連絡先】  
 〒395-0075 飯田市白山通り1丁目310番地1  
 TEL/FAX 0265-52-9391  
 Eメール [healhanashizuku@ybb.ne.jp](mailto:healhanashizuku@ybb.ne.jp)  
 URL <http://www.hanashizuku.jp/>



**\*地域づくりは人づくり\***  
**特定非営利活動法人長野県地域支援センター**

「地域づくりの主体はここで生きる人たちだ。地域はここに生きる人たちの成長により発展し活力が生まれる。地域づくりは人づくり。自分を活かし、他を活かし、世のため人のために生きる人が地域に育つ支援をしたい。」という情熱のあるミッションを持って活躍されています。

今年、上田から長野に事務所を移し、長野市市民公益活動センターの管理運営業務を受託しました。地域支援のための中核拠点となり、フォーラム・セミナーを積極的に実施し、公益活動の支援をしています。

8月26日には「まちづくりセミナー」が開催され、滝澤恵一理事長から地域資源活用による地域づくりについての有意義な講義と成功事例の発表がありました。

今後、NPO経営基本講座等も予定されていますので、大いに活用してください。



【連絡先】  
 〒380-0835 長野市新田町  
 もんぜんぶら座3F  
 長野市市民公益活動センター  
 TEL 026-223-0051 FAX 026-223-0052  
 URL <http://nagano-npolink.net/>

**\*地域の資源は宝物\***  
**特定非営利活動法人たかぎ**

喬木村は高齢化率も高く、村の財政も厳しい中で、いちご狩りをはじめとして、地域の豊かな資源を活かした観光農業や地区住民の手による地域おこし活動が盛んなところですが、専業で行っていないため、これ以上の広がりが困難な状況です。そこで、今年4月NPO法人を設立し住民自らの手で活性化する取組みを支援し、持続可能な地域社会の実現を目指しています。

法人では、村・農業観光組合等と連携を密にし、特に都市と山村との交流に力を入れています。いちごをはじめ、りんご、さくらんぼ、ブルーベリー、栗、松茸、竹の子と四季を通じ多彩な産物に恵まれ、農家へのホームステイやりんごの木オーナー制度等、豊富な交流メニューが用意され、参加者の反応も上々です。



【連絡先】 〒395-1100 喬木村1440番地1

**\*地域の手による地域のための介護支援\***  
**特定非営利活動法人おもいやり乙女平**

東御市乙女平地区はS46年に分譲団地として開発され、35年以上が経過し、団塊世代の退職時期を迎えました。区として、「助け合い安心ネットワークの構築」などの高齢者福祉を進めてきましたが、独居高齢者の増加や家庭介護力の低下など地域の高齢者を取り巻く状況は厳しさを増しています。

このような中で、「お互いが福祉の担い手、受け手である」という認識を実現し、地域住民自身の手による介護・支援サービスを行なうこととし、宅幼老所おひさまを11月にオープンします。区がこのような取組みをしたのは、県下初です。「他人を思いやり、お互い助け合う」を気持ちや定着させ、「その人らしさ」を持ち続けて生きられるようなふるさとにしていきたいです。



【連絡先】  
 〒389-0513 東御市滋野736-128  
 TEL/FAX 0268-64-4171

